

「習志野きらっと2016」に参加しました 疲労感以上に達成感！サンバ踊りは最高

杉本裕子（広報青年部会）

7月17日、第23回「習志野きらっと2016」が開催されました。

「えっ！もう23回もこのお祭りは開催されているの？」とびっくりしましたが、いつのまにかたくさんボランティアに支えられ、習志野市民のふるさとのお祭り、伝統の行事になったように思います。

雨模様の日が続き、当日のお天気が心配されましたが、きらっとサンバ踊り全体の振り付けをされた桜丘けいこ先生によると、「この市民祭りが雨のため中止になったことは一度もない」とのお話でした。きっと習志野市民は晴れ男と晴れ女が多いのでしょう。もちろん心がけもよい方が多いのでしょうね。照りもせず雨も降らずちょうどよいお祭り日和(?)でした。

消防庁舎裏の第1会場、都市間・産学官交流コーナーで、習志野市国際交流協会のブースがあったのをご存じでしょうか？今回は新しく作成したパネルを展示し、周りを世界各国の国旗で飾り、国際交流協会のパンフレットや会報 SQUARE を来場者に見ていただきました。今年は新庁舎建設のため会場が分散され探しにくかったと思われませんが、このブースの見学の後きらっとサンバ踊りに参加してくださった方もいらっしゃいました。うれしいかぎりです。

サンバ踊りは例年のようにサンロード6階の廊下で練習しました。体調不良かかわらず指導に駆けつけてくださった太田さんに感謝です。サンバは軽快でリズムカルで楽しい踊りです。元気がでます。日本の民謡にあわせた盆踊りの踊りに比べテンポが速い。速すぎるくらいです。テンポに付いていくのに大変なうえに隊列を考えながら踊ります。でも初めは自信がなかった踊りも、不思議なもの

で音楽のリズムに合わせて踊るうちに楽しくなり、体も動くようになってきました。

国際交流協会のチームは、黒の上下に大きな黄色のひまわりのコサージュ、色とりどりのカウボーイハット、手にはオレンジ色のポンポンを持っていざ出陣です。15名と少々少ないメンバーでしたがフィリピンやタイなど出身のお友達も参加です。追っかけをしてくださったカメラマン、熱い声援をかけてくださったハンサムな青年たちに後押しされながら、旧市役所の坂の上のゴールまで無我夢中で踊りました。いつもより短い踊りの距離でしたが全員汗だくでした。「やったねー！！！」と両手を叩き合い満面の笑みでお互いにほめたたえました。疲労感以上に達成感があり高揚感もありました。最高です。

私たち習志野市国際交流協会はより多くの人々と交流を深めたいと思っています。来年はさらに多くの方がサンバ踊りに参加してほしいですね。



パレードスタート前、市役所通りで元気一杯のNIAチームメンバー（上）。まつり会場のPR展示ブースに立ち寄る市民のみなさん（右）。

